

貧酸素水塊速報 (2016年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 ○ 神奈川県水産技術センター
 【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会
 東京都環境局
 (国)国立環境研究所

平成28年10月17日観測結果

貧酸素水塊は、内湾北部から川崎沖にかけて分布しています(図1)。また、小柴沖でも一部貧酸素化した水塊がみられています。内湾北部と川崎沖では、依然として溶存酸素量が1.5ml/Lを下回る比較的強い貧酸素状態が続いています。

しかし、縦断ラインにおける貧酸素水塊の鉛直分布は、海底から2m程度と薄く、その規模も直近10年平均と同様に縮小傾向です(図2, 図3)。

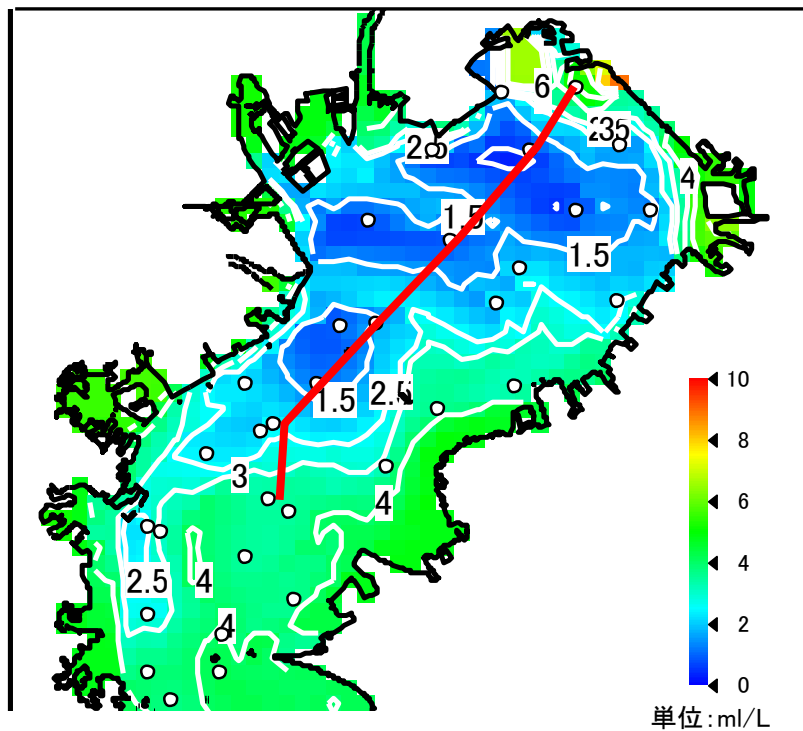


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

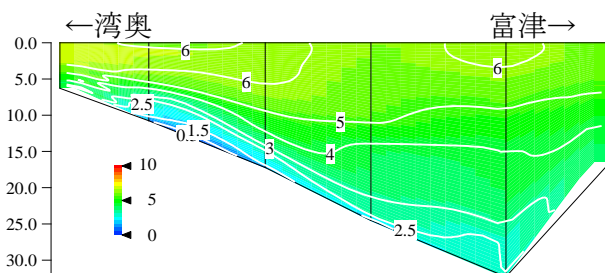


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

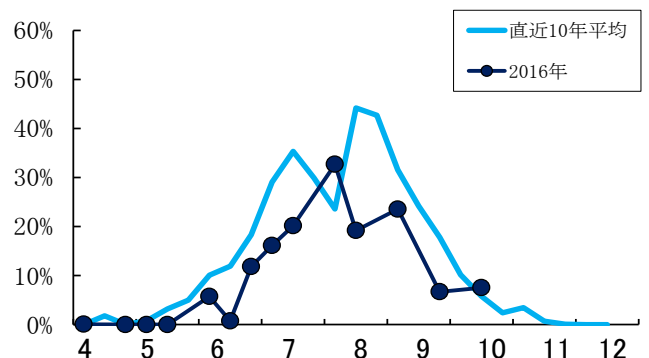


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)